

令和 5 年 度

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 3 1 日

業 務 報 告 書

石 川 県 農 業 共 済 組 合

事業報告書

令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日）

（1）農作物共済関係 （引受）

年産	共済目的	組合員数	引受面積	共済金額	徴収共済掛金(A)	交付金又は納入保険料(B)	手持共済掛金(A)±(B)
		人	a	円	円	円	円
令和5年産	水稲	7,653	1,446,665.8	11,348,207,202	3,747,526		
	麦	100	69,154.8	237,488,358	6,611,397		
令和5年産	計	延 7,753	1,515,820.6	11,585,695,560	10,358,923	7,713,631	18,072,554
		実 7,541					
令和6年産	麦	90	65,124.9	234,004,243	6,410,375		
	計	90	65,124.9	234,004,243	6,410,375		

引受面積：前年度対比 水稲 92.0% 5年産麦 89.1% 6年産麦 94.3%

引受面積：事業計画対比 水稲 95.4% 5年産麦 99.9% 6年産麦 99.9%

（被害）

年産	共済目的	被害組合員数	共済金	共済金 共済金額
		人	円	%
令和5年産	水稲	174	20,564,860	0.18
	麦	34	8,377,318	3.53
令和5年産	計	延 208	28,942,178	0.25

（被害概況）

ア 水稲

令和5年7月12日の豪雨により圃場への浸水・冠水および土砂流入が見られた。

少雨と高温のため干害が発生した。

移植後の地震による浮苗が発生し、補植出来ず、欠株となった圃場があった。

令和5年5月5日の地震後にパイプラインの破損が発生。圃場に水を張れず、移植不能となった。

ザリガニによる稲の苗を摂食・茎葉切除の被害が発生した。

イノシシ及びサルによる圃場内での踏み荒しおよび食害が発生した。

スズメによる食害が発生した。

イ 麦

播種後の降雨により、一部圃場で土壌湿潤害による発芽不良や生育不良となり減収した。

成熟期から収穫期の降雨並びに強風の影響で倒伏となり減収した。

(支 払)

共済目的	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
水 稻	12月5日 3月25日	円 20,564,860	円	円 9,695,236	円	円	円 0	% 100.0
麦	12月5日	8,377,318		8,377,318			0	100.0
計		28,942,178	0	18,072,554	10,869,624	0	0	100.0

「農林統計作況指数（令和5年産水稻）」

9月25日現在 100 (加賀99、能登 100)

12月12日公表 100 (加賀99、能登 100)

(評価事項)

ア 水稻

NOSA I 部長との連絡や関係機関との情報交換及び担当職員の現地見回りにより被害状況の把握に努めた。
半相殺方式については、農家申告抜取調査を実施した。農家申告抜取調査は、実測の方法で実施し評価の適正を期した。

全相殺方式及び品質方式については、見回り調査を行い、各出荷団体より出荷数量の提出を受け出荷数量等調査を実施した。

イ 麦

関係機関や生産者団体との情報交換及び担当職員の現地見回りにより被害状況の把握に努めた。

災害収入共済方式については、見回り調査を行い、各出荷団体より出荷数量の提供を受け出荷数量等調査を実施した。

(損害防止)

ア 水稻

適期・適切な防除を普及徹底させるため、病害虫等の発生予察情報を把握するとともに、関係機関と連携し、NOSA I 部長及び組合員に情報を提供した。

鳥獣害等による被害を未然に防止し、地域の生産活動の安定に資することを目的に設置された協議会に対し、その損害防止等に要する経費の一部を助成した。

損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

水稻の安定生産と病虫害の未然防止のため、損害防止機器の貸出を行った。

NOSA I 独自の気象観測機器を県内に19か所設置し、気温・葉濡れ・雨量・風速・土壌水分・日照を観測し、いもち病の発生予想による損害防止や積算温度による刈取り適期等の情報を、インターネットを通じ農家向けに提供した。

イ 麦

損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。

(2) 家畜共済関係
(引 受)

区 分	項 目	組 合 員 数	有 資 格 頭 数	事 業 計 画 頭 数	引 受 頭 数	引 受 頭 数 / 事 業 計 画 頭 数	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	納 入 保 険 料	交 付 金	手 持 共 済 掛 金
		人	頭	頭	頭	%	円	円	円	円	円
死亡 廃用 共済	搾乳牛	27	2,043	2,425	2,327	95.96	281,033,050	8,738,168			
	育成乳牛	28	882	1,213	1,322	108.99	142,374,700	427,031			
	子牛等			(113)	(133)						
	繁殖用雌牛	22	466	418	405	96.89	87,461,450	464,936			
	育成・肥育牛	33	2,313	1,823	1,801	98.79	316,987,800	4,356,960			
	子牛等			(443)	(343)						
	種 豚	3	1,684	953	936	98.22	41,556,000	7,399			
肉 豚	3	13,267	5,477	5,194	94.83	48,618,000	14,874				
計	116	20,655	12,309	11,985	97.37	918,031,000	14,009,368	-	13,992,968	28,002,336	
疾病 傷害 共済	乳用牛	30	2,925	2,802	2,770	98.86	31,510,000	13,450,486			
	子牛等			(75)	(124)						
	肉用牛	36	2,779	1,170	1,402	119.83	7,977,000	2,713,883			
	子牛等			(238)	(217)						
	種 豚	-	1,684	-	-	-	-	-			
計	66	7,388	3,972	4,172	105.04	39,487,000	16,164,369	-	16,163,968	32,328,337	

注) 期末調整による過年度引受分還付金320円は上記徴収掛金に含まない。

(事 故)

死亡廃用共済

区 分	項 目	死 亡 頭 数	廃 用 頭 数	計	支 払 共 済 金
		頭	頭	頭	円
搾乳牛		118	110	228	21,173,917
育成乳牛		37	5	42	1,700,184
子牛等	(28)				
繁殖用雌牛		9	2	11	1,691,360
育成・肥育牛		90	5	95	5,330,890
子牛等	(82)				
種 豚		-	-	-	-
肉 豚		-	-	-	-
計		254	122	376	29,896,351

疾病傷害共済

区 分	項 目	件 数	支 払 共 済 金
		件	円
乳用牛		3,588	23,814,469
子牛等	(106)		
肉用牛		565	4,681,191
子牛等	(268)		
種 豚		-	-
計		4,153	28,495,660

(事故発生の概況)

[死亡廃用共済事故]

前年度対比で見ると、全体では事故頭数は3頭増であったが、支払共済金5,856千円の減少であった。種豚・肉豚は事故除外引受であり、支払対象事故の発生はなかった。

前年度対比を病類別に見ると、外傷不慮その他(62頭で44頭増)、新生児異常(75頭で33頭減)等が主な増減であった。

[疾病傷害共済事故]

前年度対比で見ると、全体では259件の増、支払共済金1,458千円の減少であった。

前年度対比を病類別に見ると、生殖器病(2,447件で366件増)、呼吸器病(293件で39件増)、運動器病(164件で31件減)等が主な増減であった。

(損害防止)

実施種目		対象頭数又は回数	経費	摘要
一般損害防止事業		頭(回)	円	事業の安定と事故低減並びに組合員の負担低減を図ることを目的として、乳房炎・繁殖障害に限定して実施した。特に費用対効果を鑑み、乳房炎の発生頻度の高い組合員を主体に、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
		特定損害防止事業	1,382,220	
		対象頭数	360	
		検査頭数	339	
		処置頭数	139	
		指導頭数	65	
削蹄事業		実頭数 5,189	831,000	組合員が組合の指示に基づいて行う削蹄に要した費用の一部助成した。
栄養障害等防止事業		3,698	306,184	主として消化器病・代謝疾患における多発疾病に対して、栄養的側面から飼養管理指導を行い、薬剤の補助的応用により、その低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
家畜衛生管理事業		11,985	591,580	乳房炎を筆頭に多発している感染性疾患に対して、衛生管理指導を行い、ディッピング剤・消毒剤の応用により、その蔓延防止事故低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
多発疾病発生防止事業		6,419	1,129,403	乳用牛の多発疾病に対して、血液生化学的側面等からも要因を分析しそれに基づいて飼養管理指導を行い、その低減を図り、また死産事故率が最も高い周産期病・運動器病に対して、飼養管理指導を行い、薬剤等の応用により、その低減を図ることを目的として、事業のすべてを組合家畜診療所で実施した。
一般損害防止事業計			2,858,167	

(診療所)

職員数	管内		診療件数			主なその他診療外件数	
	有資格頭数	加入頭数	共済事故	事故外	計	人工授精	受精卵移植
4人	7,388頭	16,157頭	887件	1,201件	2,088件	236件	147件

(3) 果樹共済関係

(引 受)

年度	果樹区分	組合員数	引受面積	共済金額	徴収 共済掛金 (A)	交付金又は 納入保険料 (B)	手持 共済掛金 (A) ± (B)
令和4年度	りんご	人	a	円	円	円	円
	ぶどう	1	16.4	1,156,000	7,384		
	なし	13	1,056.1	47,479,000	508,322		
	かき	38	936.3	7,591,000	255,213		
	くり	21	2,684.0	13,641,000	157,797		
	計	73	4,692.8	69,867,000	928,716	△ 37,702	891,014
令和5年度	りんご						
	ぶどう						
	なし	6	454.9	25,248,000	257,796		
	かき	38	892.6	9,867,000	297,753		
	くり	20	2,655.0	13,996,000	154,700		
	計	64	4,002.5	49,111,000	710,249	△ 113,272	596,977

(事 故)

果樹区分	被害 組合員数	共済金	共済金 共済金額
りんご	人	円	%
ぶどう	1	184,960	16.0%
なし	7	6,353,500	13.4%
かき	-	-	-
くり	4	377,650	2.7%
計	12	6,916,110	-

(被害概況)

- ぶどう 【雨害湿潤害】 令和5年7月上旬の降雨により、裂果が発生した。
- なし 【凍霜害】 令和5年4月25日の降霜により果実表面に黒変や亀裂等が発生した。
【干害】 梅雨明け以降は高温・少雨の気象条件が続いたことから果実肥大は緩慢になり、小玉傾向となる。
- くり 【病害】 感染期の令和5年6月下旬～7月中旬が高温多湿になり炭疽病に感染。その後、高温により果実腐敗が助長された。

(被害評価の概況)

- ぶどう 職員と損害評価会委員による評価班を編成し、農家申告抜取調査(実測)及び果実重調査を行った。
- なし (半相殺一般方式) 職員と損害評価会委員による評価班を編成し、農家申告抜取調査(実測)及び果実重調査を行った。
(全相殺減収方式) 職員による共済事故確認調査を行った。組合員は共同選果場に全量出荷しているため、出荷数量等調査を行った。
- くり 職員と損害評価会委員による評価班を編成し、農家申告抜取調査(実測)及び果実重調査を行った。

(支 払)

果樹区分	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源					実支払 共済金 共済金
			保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	その他	
りんご		円	円	円	円	円	円	%
ぶどう	11月30日	184,960						100.0
なし	12月27日	6,353,500						100.0
かき		-						-
くり	12月27日	377,650						100.0
計		6,916,110	5,349,593	675,960	678,030	0	212,527	100.0

(損害防止)

- ・ 損害防止に要する機器を購入した経費の一部を助成した。
- ・ 果樹共済担当職員を対象とした損害評価講習会を開催し、防除に関する知識、損害評価技術の向上に努めた。

(4) 畑作物共済関係

(引 受)

共済目的	項目	組合員数	引受面積	共済金額	徴収	交付金又は	手 持
					共済掛金 (A)	納入保険料 (B)	共済掛金 (A)±(B)
		人	a	円	円	円	円
大豆		81	52,203.8	136,940,255	4,240,181		
計		81	52,203.8	136,940,255	4,240,181	2,741,491	6,981,672

(被 害)

共済目的	項目	組合員数	共 済 金	共 済 金
			円	共済金額 %
		人	円	%
大豆		46	14,939,691	10.9
計		46	14,939,691	10.9

(被害概況)

播種期から開花期にあたる6月上旬から7月中旬までは、低気圧や梅雨前線の影響による大雨や周期的な降雨があり、県内全域の圃場において湿害による発芽不良や生育不良が発生した。

開花期から子実肥大期にあたる7月下旬から9月下旬まで高温、少雨・多日照で推移し、干ばつにより落花及び落莢が発生し着莢数が減少した。また、着莢数及び稔実した子実が減少し、養分の子実転流不足により収穫期になっても莢が枯れ上がらない青立ち・莢先熟株が発生し、汚損粒の発生も見られた。

獣害では加賀市と小松市の山間地の一部で収穫直前的大豆にイノシシによる食害や倒伏被害が見られた。

(被害評価の概況)

全相殺方式は、収穫期に共済事故の発生状況を確認するとともに、分割評価を行った。また、出荷先からの出荷数量等証明書により出荷量の調査を行った。

(支 払)

共済目的	項目	支払月日	実支払 共済金	共済金支払財源				実支払 共済金 共済金
				保 険 金	手持掛金 充当額	法定積立金 充当額	特別積立金 充当額	
			円	円	円	円	円	%
大豆		3月28日	14,939,691	6,590,348	6,981,672	0	1,367,671	100.0
計			14,939,691	6,590,348	6,981,672	0	1,367,671	100.0

(5) 園芸施設共済関係

(引 受)

項 目		組 合 員 数	引 受 棟 数	設 置 面 積	共 済 価 額	共 済 金 額	徴 収 共 済 掛 金	交 付 金	手 持 共 済 掛 金
施設区分									
ガラス室	鉄 骨	37	78	25,093	310,696,688	248,255,646	130,437	111,323	241,760
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	パイプ	1,239	4,003	736,183	2,337,254,646	1,894,577,171	18,061,832	5,765,624	23,827,456
	鉄骨下	9	16	5,120	36,137,211	28,909,765	27,664	22,732	50,396
	鉄骨中(甲)	11	19	5,489	44,463,701	33,438,390	144,491	9,336	153,827
	鉄骨中(乙)	10	18	6,695	82,839,986	69,848,085	98,038	72,836	170,874
	鉄骨上	9	18	7,509	87,891,428	70,313,134	67,303	63,603	130,906
	雨よけ	10	20	4,281	8,993,944	7,195,150	47,674	31,819	79,493
	多目的ネット	1	1	6,285	2,557,205	2,045,764	11,844	7,631	19,475
合 計		(実1,064) 1,326	4,173	796,655	2,910,834,809	2,354,583,105	18,589,283	6,084,904	24,674,187

(被 害)

項 目		被 害			被 害 額	共 済 金						共 済 金	
施設区分		組 合 員 数	棟 数	附 帯 設 施 数		特 定 園 芸 設 施	特 定 設 施 復 旧 費 用	附 帯 設 施	附 帯 設 施 復 旧 費 用	設 施 内 農 作 物	撤 去 費 用	合 計	共 済 金 額
ガラス室	鉄 骨	2	3		76,662	61,329					61,329	0.0	
プ ラ ス チ ッ ク ハ ウ ス	パイプ	111	149	1	21,992,863	17,277,926	204,400		51,100	251,278	40,000	17,824,704	0.9
	鉄骨下	1	2		57,329	45,862						45,862	0.2
	鉄骨中(甲)											0	0.0
	鉄骨中(乙)	1	1		107,608	86,086						86,086	0.1
	鉄骨上	1	2		205,098	164,077						164,077	0.2
	雨よけ	1	1		792,634	634,107						634,107	8.8
	多目的ネット											0	0.0
合 計		(実117) 117	158	1	23,232,194	18,269,387	204,400	-	51,100	251,278	40,000	18,816,165	0.8

(被害概況)

- [風 害] 台風、低気圧の通過及び突風等による被害戸数78戸、事故棟数は87棟、特定園芸施設支払共済金は3,301,110円である。
- [風 雪 害] 寒波の襲来による被害戸数15戸、事故棟数は26棟で支払共済金は5,611,165円である。
- [水 害] 7月12日の大雨等により河川の氾濫による被害戸数は3戸、事故棟数は3棟、支払共済金は707,349円である。
- [その他原因(地震)] 1月1日に発生した能登半島地震による被害戸数は16戸、事故棟数は34棟、支払共済金は8,775,755円である。
- [その他原因(車両の衝突)] 被害戸数は2戸、事故棟数は2棟、支払共済金は62,897円である。
- [その他気象上の原因] 高温による生理障害等で施設内内作物の被害戸数1戸、事故棟数は4棟、支払共済金は251,278円である。
- [火 災] 被害戸数1戸、事故棟数1棟、支払共済金は92,189円である。
- [鳥 害] 被害戸数1戸、事故棟数1棟、支払共済金は14,422円である。

(評価の概況)

災害後の現地の見回り・関係機関との連携により、被害状況を把握し、評価要領に基づき適正評価を行い、早期支払に努めた。

(支 払)

実支払共済金	共 済 金 支 払 財 源					実支払共済金 共 済 金
	保 険 金	手 持 掛 金 充 当 額	法 定 積 立 金 充 当 額	特 別 積 立 金 充 当 額	そ の 他	
円	円	円	円	円	円	%
18,816,165	7,694,315	11,121,850	0	0	0	100.0

(損害防止)

関係機関と協力し病害虫防除の指導を行い、損害防止のために使用する補修テープを加入者に配布した。

(6) 任意共済関係
 (6-1) 建物共済
 (引 受)

共済種類	加入棟数	共済金額	共 済 掛 金		1棟当たり 平 均 共済金額	任意保険料	保険手数料	備 考
			純共済掛金	賦 課 金				
総合共済	棟 3,234	千円 35,154,160	円 63,306,126	円 27,495,531	千円 10,870	円 40,432,071	円 9,263,818	
火災共済	26,745	386,617,500	149,510,134	122,025,543	14,456	81,460,677	32,929,962	
計	29,979	421,771,660	212,816,260	149,521,074	14,069	121,892,748	42,193,780	

保険割合 30% 保険手数料割合 総合共済 30.50% 火災共済 40.50%

(事 故)

事故棟数	加入 総共済金額 (イ)	支 払 共 済 金 (ロ)			任意保険金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
		火災共済	総合共済	計			
棟 1,030	千円 421,771,660	円 113,479,501	円 1,148,253,687	円 1,261,733,188	円 598,654,701	% 0.3	

(原因別事故発生状況)

事 故 の 原 因	事故棟数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	任意保険金	被 害 率 (ロ) / (イ)	備 考
	棟	千円	円	円	%	
火 災	14	/	96,018,341	28,805,496	/	
落 雷	97		17,888,938	5,366,642		
外部からの落下等	26		1,556,347	466,896		
車両の飛び込み	9		2,529,289	758,785		
給排水設備	67		5,606,422	1,681,919		
盗難による汚損・毀損	2		85,864	25,758		
建物内部の車両衝突	4		1,840,246	552,072		
風 台 風	2		376,472	112,941		
強 風	44		7,861,100	2,358,318		
大雨・豪雨	12		15,793,529	4,738,053		
暴 風 雨	1		104,308	31,292		
積 雪	54		11,397,614	3,419,269		
地 震	693		1,068,574,718	534,287,260		
津 波	5		32,100,000	16,050,000		
計	1,030	421,771,660	1,261,733,188	598,654,701	0.30	

(6-2) 農機具損害共済
 (引 受)

	加入台数	共 済 金 額	共 済 掛 金		1台当たり 平 均 共済金額
			純共済掛金	賦 課 金	
	台	千円	円	円	千円
計	2,367	9,743,310	27,430,495	16,380,496	4,116

(事 故)

事故の原因	事故台数	加入総共済金額 (イ)	支払共済金 (ロ)	被 害 率 (ロ) / (イ)
	台	千円	円	%
火災等事故	1	/	82,134	/
稼働中の事故	199		19,812,809	
自然災害事故	3		704,777	
計	203	9,743,310	20,599,720	0.21

(7) 受託事業 農業経営収入保険事業関係
(加入)

	経営体数	基準収入金額	保 険 金 額	積 立 金	加 入 者 負 担		平均基準 収入金額	備 考
					保 険 料	積 立 金		
	経営体	円	円	円	円	円	円	
個 人	939	9,336,497,023	6,702,288,777	821,683,847	68,547,716	205,421,273	9,943,021	
法 人	214	7,158,710,270	5,152,958,050	636,497,036	53,244,472	159,124,340	33,451,917	
合 計	1,153	16,495,207,293	11,855,246,827	1,458,180,883	121,792,188	364,545,613	14,306,338	

(支払)

	保険金等 支払経営体数	保 険 金	特約補填金	合 計
	経営体	円	円	円
個 人	76	34,868,948	37,202,666	72,071,614
法 人	13	5,565,221	23,998,913	29,564,134
合 計	89	40,434,169	61,201,579	101,635,748

注) 支払は前年度加入のものである。

(8) 業務関係

① 重要な処理事項

年 . 月 . 日	処 理 事 項
5. 4. 19	北信五県特定組合長会議・参事会議(石川県)
21	農業共済団体に対する監督指針の改正等に係る説明会(リモート)
24	表彰審査会(本所)
26	全国広報参事等会議(リモート)
5. 2・8・9	公認会計士検査(本所)
10	第1回余裕金運用管理委員会(本所)
10	第1回理事会(本所)
16	第1回監事会(本所)
16 ~ 17	組合決算監査(本所)
24	石川県農業保険普及推進協議会(本所)
24	石川県収入保険推進協議会通常総会(本所)
27	第2回理事会(本所)
27	第17回通常総代会(本所)
6. 1 ~ 2	北信五県収入保険担当者会議(福井県)
3 ~ 4	獣医師職員採用説明会(東京都)
5 ~ 9	中間指導職養成研修会(全国共済協会)
5 ~ 6	農業簿記検定研修会(本所)
5 ~ 6	消費税インボイス・コンプライアンス・秘密保持・交通安全研修会(本所)
7 ~ 8	北信五県農作物共済・損害防止事業担当者会議(福井県)
7 ~ 8	北信五県畑作物共済担当者会議(福井県)
8	全国農業共済協会第1回理事会(全国共済協会)
8	全国農業共済組合連合会第1回理事会(全国共済協会)
12 ~ 16	第1回普及推進研修会(実践コース)
14 ~ 15	北信五県果樹共済担当者会議(福井県)
14 ~ 15	北信五県園芸施設共済担当者会議(福井県)
15	地区代表特定組合等参事調整会議(リモート)
20	第3回理事会(本所)
21 ~ 22	北信五県家畜共済担当者会議(福井県)
23	令和5年度第1回全国特定組合長会議・会長会議(全国共済協会)
23	全国農業共済協会第144回通常総会(全国共済協会)
23	全国農業共済組合連合会第22回通常総会(全国共済協会)
27 ~ 30	第1回管理職研修会(全国共済協会)
27	建物共済損害評価講習会(福井県)(本所)
28	北信五県任意共済担当者会議(福井県)
7. 3	全国農業共済組合連合会第2回理事会(全国共済協会)(書面議決)
7	令和5年度農林水産省主催果樹共済研修会(リモート)
10	令和5年度収入保険担当者研修会(全国連)(本所)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
5. 7. 10	第18回臨時総代会(本所)
12	第1回参事会議(全国共済協会)
12	令和5年度農林水産省主催園芸施設共済研修会(リモート)
13	北信五県参事会議(全国共済協会)
20	令和5年度農林水産省主催農業保険外交員研修会(リモート)
20	組合運営状況に関するヒアリング(リモート)
21	NOSAI専務・常務会議(全国共済協会)
8. 7 ~ 9	第1回幹部職員研修会(全国共済協会)
21	全国農業共済協会第2回理事会(全国共済協会)(書面議決)
21	全国農業共済組合連合会第3回理事会(全国共済協会)(書面議決)
28 ~ 9.1	建物共済損害評価技術研修会(千葉県)
30	特定組合の運営に係る説明会(リモート)
31	「未来へつなぐ」サポート運動全国推進会議(リモート)
9. 6	全国農業共済協会第3回理事会(全国共済協会)
6	第2回全国特定組合長・会長会議(全国共済協会)
6	全国農業共済協会第145回臨時総会(全国共済協会)
6	全国農業共済協会第4回理事会(全国共済協会)
6	全国農業共済組合連合会第4回理事会(全国共済協会)
6	全国農業共済組合連合会第23回臨時総会(全国共済協会)
6	全国農業共済組合連合会第5回理事会(全国共済協会)
6 ~ 7	北信五県総務・経理担当者会議(福井県)
6 ~ 7	北信五県内部監査担当者会議(福井県)
7 ~ 8	令和5年度農林水産省主催家畜共済研修会(リモート)
7 ~ 8	農業経営収入保険事業初任者研修会(全国共済協会)(本所)
13 ~ 14	北信五県運動推進・広報担当者会議(福井県)
13 ~ 14	北信五県事務機械化担当者会議(福井県)
28	第2回余裕金運用管理委員会(本所)
28	第4回理事会(本所)
29	全国農業共済組合連合会第24回臨時総会(全国共済協会)(書面議決)
29	職員採用試験(本所)
10. 3 ~ 6	第2回管理職研修会(全国共済協会)
11	第2回全国参事会議(全国共済協会)
12	第2回北信参事会議(全国共済協会)
13	全国農業共済協会第5回理事会(全国共済協会)(書面議決)
13	全国農業共済組合連合会第6回理事会(全国共済協会)(書面議決)
16 ~ 27	第2回管理職養成研修会(全国共済協会)
21 ~ 22	石川の農林漁業まつり(石川県産業展示館)
30 ~ 11.1	第2回幹部職員研修会
30 ~ 11.2	公認会計士監査(本所)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
5. 10. 31	全国農業共済協会第146回臨時総会(全国共済協会)(書面議決)
31	全国農業共済組合連合会第25回臨時総会(全国共済協会)(書面議決)
11. 9	全国農業共済協会第6回理事会(全国共済協会)
9	全国農業共済組合連合会第7回理事会(全国共済協会)
10	農林水産省主催法令等研修会(リモート)
13	全国参事会議・収入保険会議(リモート)
14	第2回監事会(本所)
14 ~ 15	組合中間監査(本所)
14 ~ 15	家畜診療等技術北信・東海地区発表会及び研修会(新潟県)
22	損害評価会果樹共済部会(本所)
24	損害評価会農作物共済部会(本所)
28 ~ 29	全国NOSAI大会、予算要請(東京都)
12. 12 ~ 8	建物共済専門講習会(全国共済協会)
13 ~ 15	システム運用管理者養成研修会(リモート)
14	全国農業共済組合連合会第8回理事会(全国共済協会)(書面議決)
14	第3回余裕金運用管理委員会(本所)
14	第5回理事会(本所)
15	損害評価会果樹共済部会(本所)
21	北信五県参事会議(リモート)
25	全国農業共済協会第7回理事会(全国共済協会)
25	全国農業共済組合連合会第9回理事会(全国共済協会)
25	全国農業共済組合連合会第26回臨時総会(全国共済協会)
26	産業動物獣医師に関する獣医学系大学との懇談会(全国共済協会)
6. 1. 2 ~ 随時	令和6年能登半島地震に係る災害対策本部会議(本所)
18	第6回理事会(本所)
26	農林水産省主催農業保険制度関係担当者会議(リモート)
26	農林水産省主催農業共済組合連合会等総務・指導担当者合同会議(リモート)
2. 15	第3回全国参事会議(全国共済協会)
16	北信五県参事会議(全国共済協会)
22	農林水産省主催農作物・畑作物共済研修会(リモート)
27	第7回理事会(本所)
3. 5	全国農業共済協会第8回理事会(全国共済協会)
5	全国農業共済組合連合会第10回理事会(全国共済協会)
8	NOSAI情報化全国会議(リモート)
15	コンプライアンス改善委員会(本所)
18	損害評価会建物共済部会(本所)
18	損害評価会農機具共済部会(本所)
19	損害評価会畑作物共済部会(本所)
19	損害評価会農作物共済部会(本所)

年 . 月 . 日	処 理 事 項
6. 3. 21 ~ 22	北信五県制度検討会議並びに事業運営検討会議(福井県)
22	全国農業共済協会第147回臨時総会(全国共済協会)
22	全国農業共済組合連合会第27回臨時総会(全国共済協会)
22	第3回全国特定組合長・会長会議(全国共済協会)
26	損害評価会家畜共済部会(本所)
26	損害評価会園芸施設共済部会(本所)
28	教育研修基金運用委員会(本所)
28	第4回余裕金運用管理委員会(本所)
28	第8回理事会(本所)

② 総代会

(1) 通常総代会 令和5年5月27日

総代の数	101 人
本人出席	44 人 (43.6 %)
代理出席	- 人 (-)
書面出席	54 人 (53.5 %)
出席者計	98 人 (97.0 %)

重要な議事及び議決事項

- 議案第 1 号 事業規程の一部変更議決の件
- 議案第 2 号 令和4年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、剰余金処分案及び不足金処理案承認の件
- 議案第 3 号 令和5年度事業予定計画書及び収支予算書議決の件
- 議案第 4 号 令和5年度事務費賦課金徴収額及び徴収方法議決の件
- 議案第 5 号 役員、顧問弁護士、損害評価会委員及び共済部長報酬議決の件
- 議案第 6 号 借入金最高限度額及び借入条件議決の件
- 議案第 7 号 特別積立金取り崩し限度額議決の件
- 議案第 8 号 余裕金預入先議決の件
- 議案第 9 号 危険段階別共済掛金率設定議決の件
- 議案第 10 号 職員給与規則の一部改正承認の件
- 議案第 11 号 職員退職給与規則の一部改正承認の件
- 議案第 12 号 実施体制の改善計画の策定議決の件

(2) 臨時総代会 令和5年7月10日

総代の数	100 人
本人出席	7 人 (7.0 %)
代理出席	- 人 (-)
書面出席	92 人 (92.0 %)
出席者計	99 人 (99.0 %)

重要な議事及び議決事項

- 議案第 1 号 事業規程の一部変更議決の件

③ 組合員の増減

年度始組合員数	年度末組合員数	増 減
9,178人	8,412人	△ 766人

④ 役職員その他

役 員				
常勤理事	非常勤理事	理 事 計	監 事	合 計
1人	13人	14人	3人	17人

総 代	共済部長	損害評価員
100人	1,839人	1,748人

損害評価会委員								
水 稻	麦	家 畜	果 樹	畑 作 物	園芸施設	建 物	農 機 具	合 計
共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	共済部会	
65人	23人 (23)	5人 (1)	16人	20人 (18)	3人 (1)	3人 (1)	3人 (1)	138人 (実 94)

() は兼務

職 員 数	区分 性別	参 事	監理室	総務部	保険部	
		男	1人	0人	7人	(6) 15人
	女	0人	1人	3人	2人	
	計	1人	1人	10人	(6) 17人	
	区分 性別	診療所	第 1 事業部	第 2 事業部	合 計	
		男	(4) 0人	(1) 23人	(3) 16人	(14) 62人
		女	0人	5人	5人	16人
		計	(4) 0人	(1) 28人	(3) 21人	(14) 78人

() は兼務